

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成20年2月28日(2008.2.28)

【公開番号】特開2002-216202(P2002-216202A)

【公開日】平成14年8月2日(2002.8.2)

【出願番号】特願2001-9498(P2001-9498)

【国際特許分類】

G 07 D 1/00 (2006.01)

A 63 F 9/00 (2006.01)

【F I】

G 07 D 1/00 G B L

G 07 D 1/00 G B M

A 63 F 9/00 512 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月14日(2008.1.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

コインの送り出し装置(A)と、前記送り出し装置(A)から送り出されたコインを出口(136)に向かって案内するコイン通路(B)と、前記コイン通路(B)の異常を検知する検知体(C)と、前記検知体の検知に基づいて前記送り出し装置側へコインを方向転換させるコインの方向転換装置(D)を有するコインホッパ。

【請求項2】前記検知体(C)がコイン通路(B)に突出するよう力を付与されたレバー(11)である請求項1のコインホッパ。

【請求項3】さらに、前記検知体(C)が所定時間を超えてコインを検知した場合前記検知体(C)よりも上流のコイン搬送通路(E)に移動するコインの方向転換装置(D)を有する請求項1のコインホッパ。

【請求項4】前記方向転換装置(D)は、前記レバー(11)に連動して検知体(C)の上流側のコイン通路(B)に突出するストッパ(11U)と、前記ストッパ(11U)の近傍の前記コイン通路(B)に連なる通路(B2)に配置した被動レバー(29)と、前記被動レバー(29)によりコイン搬送通路(E)に突出する方向転換体(23)と、を有する請求項3のコインホッパ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

【課題を解決するための手段】この目的を達成するため本発明のコインホッパは、以下のように構成されている。コインの送り出し装置(A)と、前記送り出し装置(A)から送り出されたコインを出口(136)に向かって案内するコイン通路(B)と、前記コイン通路(B)の異常を検知する検知体(C)と、前記検知体の検知に基づいて前記送り出し装置側へコインを方向転換させるコインの方向転換装置(D)を有するコインホッパである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 1 6】

この構成によれば、コイン通路が異常になった場合、検知体によって検知される。この検知に基づいてコインの方向転換装置がコインをコインの送り出し装置側へ方向転換させる。よって、その後に続くコインの供給を行わない。